



ASAHI University News Letter

vol.115

May 2018

発行日／隔月1日

編集・発行／朝日大学 入試広報部

「建学の精神」遵守を誓う



入学生代表の矢野勝洋さん（歯学部）が「建学の精神」遵守を誓う

キャンパス内の桜が開花し新年度を迎えた4月2日（月）、本学穂積キャンパス10周年記念館大ホールにおいて2018年度朝日大学入学式（春季）が青空のもと厳粛に挙行されました。朝日大学と歯科衛生士専門学校との合同入学式では、新入生から新たな気持ちを胸に入学の宣誓が行われました。

厳粛に入学式を挙行



桜開花のもと入学式が挙行された

入学式式典では、学部、大学院、留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校の入学生734名が、大友克之学長並びに磯崎篤則専門学校校長から「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせました。

大友学長から「本学の建学の精神に立脚し、これから的人生において自分自身が社会にどのように参画していくかをしっかりとと考え、日々研鑽を積み、強い自信と誇りを持って、この学び舎で学んでいただきたい。そして、日本の未来の原動力となっていただきたい。入学生の皆さんこそが、朝日大学の未来であり、希望・夢なのです」との告辞がありました。

これに対し、入学生代表者の歯学部歯学科矢野勝洋さん（大阪上宮高等学校出身）からは、「建学の精神を遵守し、学業成就に向け努力します。」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われました。



入学生代表の矢野勝洋さん（歯学科）が「建学の精神」を誓う

理事長から祝辞

続いて挨拶に立った宮田淳理事長からは、「これからの学生生活では、資格取得やスポーツ活動に取り組むこと、国家試験合格に向けて勉学に励むなど、文武両道の精神でそれぞれの夢や目標の実現に向け努力してください。朝日大学には、海外研修、インターンシップ、ボランティアなど、みなさんがそれぞれ抱く夢を実現するためのプログラムが用意されています。朝日大学はそのような学生を教職員一同、全力でサポートします」と新入生たちへ激励の言葉（祝辞）が述べられました。



宮田理事長から激励の言葉が述べられる

国際色豊かな式典

今年は、県内外関係機関より次の来賓の方々をお迎えしました。

明海大学 学長	安井 利一 様
アラバマ大学バーミングハム校	ダニエル アレン ギバン 先生
ハワイ大学マノア校 教育学部長	ネイサン ムラタ 先生
瑞穂市 市長	棚橋 敏明 様
岐阜県歯科医師会 会長	阿部 義和 様
岐阜県経済同友会 代表幹事	中村 正 様
岐阜県弁護士会 会長	鈴木 雅雄 様
岐阜県看護協会 会長	石山 光枝 様
岐阜県体育協会 専務理事	柴田 益孝 様
岐阜県商工会議所連合会	山田 英治 様
岐阜県歯科衛生士会 会長	野々垣 静子 様
岐阜県立岐阜商業高等学校 校長	古田 憲司 先生



ハワイ大学教育学部長
ネイサン ムラタ先生

アラバマ大学
ダニエル アレン ギバン先生

式典には本学の建学の精神を反映し、海外交流校であるアラバマ大学とハワイ大学より教員と学生が参列、英語による祝辞が述べられ国際色豊かな式典となりました。

ウエルカムパフォーマンス



在学生によるウエルカムパフォーマンス

また、式典終了後には、一転趣向を変えて在学生が「ウエルカムパフォーマンス」を披露。公式戦用ユニフォームなどに身を包んだ先輩たちから熱いメッセージが送られ、式場の興奮は頂点に達しました。

法学部同窓会特別講演を開催



森永先生が日本経済を語る

法学部同窓会(飯田克良会長)が、本学法学部の開設30周年を記念する講演と懇親会を開催しました。

法学部は、2018年3月で合計5,272名の卒業生を輩出しており、同窓会は1991年3月に発足。最古参の第1期生の会員でも50歳前後で、同窓生が社会の各分野で活躍していることから、法学部の30周年を節目に学び舎に集い、今後の生活や仕事に役立つ情報を得てもらおうと、経済アナリストの森永卓郎先生を講師にお招きし、特別講演会を開催しました。

会場となった6号館6201講義室には、法学部同窓生150名と瑞穂市を中心とした一般の方100名が参加し、「どうなる? 今後の日本経済」と題して、日本経済の行方を分かりやすく解説いただきました。

同窓会懇親会に集う

講演会終了後、会場を6号館1階カフェテリアに移し、法学部開設30周年記念同窓生懇親会が開催され、来賓の中島正人歯学部同窓会長、飯島慶一経営学部同窓会長、大野正博法学部長から祝辞が述べられました。

杉島正秋副法学部長による乾杯の発声の後、友人や恩師らと近況報告や学生時代の思い出話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。閉会時には、2021年の法学部同窓会30周年を祝うため、懇親会の参加者全員が再び集うことを約束しました。



杉島正秋副法学部長が乾杯の発声

歯科医師、看護師国家試験結果

「第111回歯科医師国家試験」の合格発表

本学歯学部の新卒者の歯科医師国家試験合格率は72%(合格者72名／受験者100名)、合格者数は私立歯科大学17校中第6位という結果でした。合否判定が絶対評価から相対評価へと移行し、合格者総数が年々減少する中、今年度第111回は2,039名、全国合格率64.5%の狭き門となりました。

「第107回看護師国家試験」の合格発表

看護学科第一期生が受験した看護師国家試験の合格率は94.9%(合格者75名／受験者79名)で、既卒者を含む全受験者の合格率91%は上回ったものの、新卒者のみの合格率96.3%を下回るやや厳しい結果でした。

今後、歯学部と看護学科では教育改革を一層すすめ、1年生から知識を定着させていく取り組みに着手することとなります。

海外の歯学部学生を受け入れ

活発な意見・情報交換

本学と交流協定を結んでいるアラバマ大学バーミングハム校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、テキサス大学サンアントニオ校の教員と学生たちが本学歯学部での海外研修のため相次いで来日しました。



相撲道場を見学

海外の歯学部学生たちは、藤原周国際交流委員長から、日本における歯学教育の現状や日本文化に関する講義を受け、穂積 藤原先生の講義を受講。キャンパス医科歯科医療センター(旧附属病院)で日本の歯科医療の現場を見学、アメリカにおける医療システムや機器の違いなどについて活発な意見・情報交換を行いました。修了式では、研修生一人ひとりが「修了証書」を受領し、その後のパーティーでは、本学海外研修派遣学生や理事長・学長はじめ関係教職員との交流を深めています。



藤原先生の講義を受講

OPEN CAMPUS 2018



歯 学 部

6月17日(日)※・7月26日(木)・8月26日(日) 10:00～15:00 ※6月17日のみ13:00～16:00
入試説明、実習体験(7・8月)、模擬授業、個別相談などを開催。歯学部生の一日を体験できます。

法 学 部

6月17日(日)・7月29日(日)・8月19日(日) 13:00～16:00

実習体験、模擬授業、入試・奨学金説明、在学生との懇談などを開催。各学部の特長がよく分かるプログラムです。

経 営 学 部

保 健 医 療 学 部

詳細は「朝日大学 受験生サイト」をご確認ください。

名誉教授称号授与

本年3月に退職をされた糸山錚吾氏（法学部教授）、高井良招氏（歯学部教授）、土屋博紀氏（歯学部教授）に2018年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が授与されました。

このたびの授与は、本学に多年勤務し、教育・研究上の功績が高く評価されたものです。



朝日大学名誉教授
糸山錚吾氏



朝日大学名誉教授
高井良招氏



朝日大学名誉教授
土屋博紀氏

「岐阜新聞大賞」受賞

法学部の糸山錚吾名誉教授が「第68回岐阜新聞大賞（学術部門）」を受賞されました。

このたびの受賞は、岐阜県内において学術・文化・教育・産業・環境・社会事業などの各分野における多大な功績が評価されたものです。



糸山名譽教授（後列右から2人目）

北方警察署と連携協力

岐阜県北方警察署と朝日大学は、警察と大学による官学連携により地域社会の安寧とその担い手となる人材の育成に寄与することを目的に、「岐阜県北方警察署と朝日大学との連携協力に関する協定」を締結しています。



岐阜県北方警察署・朝日大学
第4回 連携協議会

連携協議会が開催される

このたび協定に基づく第4回の連携協議会が開催され、合同防災訓練の実施及び人材育成協力などについて活発な協議が行われました。大規模災害時などの警察活動や学生のキャリア形成の分野において大学と所轄の警察署とが連携協定が締結されるのは全国でも珍しいとのことです。

产学連携協議会を開催

セイノーホールディングスとの連携協議会

第5回产学連携協議会が開催され、2017年度の产学連携活動の実施結果報告、2018年度における寄附講座の開講、インターンシップの実施、マーケティング分野やグローバルロジスティクス研究会の活動、キャリア形成（業界研究会）や产学連携学生海外研修の実施などについて協議が行われました。

セイノーグループを代表するセイノーホールディングス（株）と朝日大学とは、地域産業と大学教育の分野において連携協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目指して、2013年2月に产学連携活動に関する協定を締結しています。

濃飛倉庫運輸との連携協議会

第4回の連携協議会が開催され、2017年度の产学連携活動の実施結果報告、2018年度における特殊講義（国際流通、通関実務）の運営、海外短期研修（ベトナム）の実施、共同研究プログラム「飛騨家具プロジェクト」の推進などについて協議が行われました。

物流大手の濃飛倉庫運輸（株）と朝日大学とは、相互に持てる社会的能力を十分に發揮し、共通の事業目的である幅広い地域社会への貢献に向けて連携活動を継続することを企図して、2013年9月に产学連携活動に関する合意覚書を締結しています。

岐阜県弁護士会と連携

本学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との第10回定期懇談会が開催され、成果報告と本年度共同事業計画について協議が行われました。



岐阜県弁護士会との定期懇談会

懇談会では、2017年度成果報告として、ジュニア・ロースクール、法教育作文コンクール、少年法シンポジウム等の実施結果が報告され、本年度においても、引き続きこれらの事業を継続していくとともに、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力をはかっていくことが確認されました。また、今回の懇談会では、教育課程の改善に資することを目的とし、「法学部及び大学院法学研究科カリキュラム・シラバス」に関する意見交換も実施されました。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を積極的に展開していくことで2009年6月に締結されています。

「医療と健康」をテーマに公開講座

美濃加茂市生涯学習センターで「医療と健康」をテーマにかかげた「第9回朝日大学公開講座」が木沢記念病院の協力を得て開催され、地域住民ら約200名がメモを取り、熱心に受講しました。

同公開講座は、歯科医学・スポーツ・看護学の分野で高度な教育研究及び人材育成を行う朝日大学と、高度・先進技術で中濃地区の医療を牽引する木沢記念病院が有する専門性とノウハウを融合させ、市民の健康増進と生涯教育の振興をはかることを目的とし、毎年開催されています。



木沢記念病院の青山先生が心筋梗塞の予防法を解説

「急性心筋梗塞で死なないために」～その予防と最新治療～
木沢記念病院循環器病センター長・循環器内科部長 青山 琢磨 先生

「生活習慣病予防と自立維持のために必要な複合運動の重要性」
～ウェルビクスの勧め～
朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科長・教授 竹島 伸生 先生

「冬でも脱水予防」
朝日大学保健医療学部看護学科教授 植原 千佐子 先生

高大連携でスイーツを開発

経営学部で商品開発を学ぶ学生と岐阜県立大垣桜高等学校食物科の生徒がそれぞれ開発したオリジナルスイーツを同時に店頭販売しました。

今回販売した商品は、経営学部の学生が企画開発した「キレイになるオトナスイーツ」と、大垣桜高校の生徒が企画開発した「米粉スイーツ」で、瑞穂市内の洋菓子店「Lu masa」様に商品化いただきました。

これまで、両校の学生や生徒がそれぞれ取り組み学んできた「商品開発」が実を結び、このたびの同時販売となりました。



洋菓子店Lu masa様でオリジナルスイーツを店頭販売

产学連携短期海外研修

経営学部では、产学連携短期海外研修をセイノーグループ企業様、十六銀行様、国際協力機構(JICA)様、エリエール様や現地スタッフの支援をいただき、タイ(バンコク、シラチャ)で実施しました。

タイにある日系企業の各拠点を訪れた学生たちは、自らの目で海外で活躍する日本人や日系企業に直接触れる良い機会となりました。

本研修プログラムは、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間を育成するという本学の「建学の精神」に基づき、学生の国際理解、異文化理解、海外経済・社会認識の向上を図ることを目的として毎年実施されています。



JICAタイ事務所で日本の援助の現状を学ぶ



十六銀行バンコク事務所で海外金融ネットワークを学ぶ



セイノーサハロジスティクスで海外物流を学ぶ

体験学習を実施

本学穗積キャンパスに山県高等学校の生徒が来学しました。

同校の訪問は、高等学校における「体験学習」の授業の一環として「卒業後の進路選択」の参考となるよう大学、短大、専門学校等を訪問しているもので、本学では10年以上継続して受け入れをしています。

大学生を体験

生徒たちは、「ニヤタロ～くんにジュースを買わせて見よう」(法学部)、「成功企業のマネジメント」(経営学部)などのミニ講義を受講、また、大学で学ぶことの意義や学生生活の過ごし方などをDVDで視聴するとともに、看護学科実習室、模擬法廷や図書館などのキャンパス見学を行いました。

ミニ講義では真剣にメモをとり、キャンパス見学では充実した施設に目を輝かせるなど、朝日大学での「一日大学生」を満喫しました。

新入生学外研修を実施

寝食を共に研修

歯学部では、岐阜都ホテルにおいて1泊2日の新入生学外研修を行いました。研修では歯科医師をめざす学生の心構えや今後の学修方法などを学び、グループ研修やレクリエーションを通じて新しい友達、教員との交流を深めました。

大学生としての自覚を認識

また、法学科・経営学科・健康スポーツ科学科では、「大学の歴史や大学で学ぶ意義」を学ぶ授業科目「建学の精神と社会生活」のフィールドワークとして長良川河口堰などをグループに分かれ見学し、岐阜の歴史や地域を学ぶとともに、新しい友達や教員との交流を深めました。

グループごとに配置された教員たちが、見学や散策を通じ親睦を深めながら大学生としての自覚を持つことの大切さや自己のキャリア形成のあり方などについて説明し、新入生たちの大学生活に対する不安感を取り除いていました。



長良川河口堰で岐阜の地域性を学ぶ

「社会人基礎力育成グランプリ」で準大賞

大学生が、ゼミや研究室単位で授業を通じでどれだけ社会人基礎力が身に付いたかを発表し、成長度合いを競う「社会人基礎力育成グランプリ」(経済産業省)の全国大会が拓殖大学文京キャンパスで開催されました。

全国6地区で開催された地区予選大会で「優秀賞」に選ばれた9大学(チーム)が全国決勝大会に挑み、中部地区大会で「優秀賞」を獲得した法学部の学生団体「朝日大学BBS」は「大学生による子ども支援活動」をテーマに、大学教育の中で学んできた「考え方」「歩みだす力」「チームワーク力」を發揮しつつプレゼンテーションを行いました。その結果、みごと「準大賞」の栄冠に輝きました。



みごと「準大賞」を受賞した朝日大学BBS

難病図書フェア開催

穂積キャンパス図書館で、「難病図書フェア」を開催しました。このフェアは、「世界希少・難治性疾患の日(RDD:Rare Disease Day)」に関連して、難病への理解を深める目的で行われました。



難病への理解が深まりました

本学ではこのフェアに昨年から参加し、今回は瑞穂市図書館とお互いの展示内容を紹介するコラボ展示も実施しました。展示してある図書を手に取ったり、難病関連のサポートを紹介するパンフレットに目を通したりと、学生が難病について知る良い機会となりました。

貴重図書の寄贈を受ける

図書館では、次の図書の寄贈を受けました。

『天下布学』(岐阜新聞社)2018

本学法学部植木哲教授、教育課程センター小川信幸教授から、岐阜県を今日の観点から再検討する視点を提供しようとする試み「岐阜文化フォーラム」の成果をまとめた図書を、寄贈していただきました。本書は、「美濃の再生:信長の生き方から私たちは何を学ぶべきか」をテーマにした座談会と、本学教員を含む「岐阜文化フォーラム」のメンバー11名が各専門分野から「文化」を論じた論考の2部構成となっています。「天下布武」を提唱した信長の業績を評価しつつ、「天下布学」を提唱して問題の本質を捉え直し、岐阜県の新たな発展を検討する問題提起の書となっています。

『日本人に適した審美修復治療の理論と実際』 (医歯薬出版株式会社)2017

本学卒業生で、貞光歯科医院貞光謙一郎院長から、日本人の審美修復治療について書かれた著書を寄贈していただきました。本書は“日本人に適した”という冠のとおり、菲薄な日本人の歯に対し、どのように審美修復治療を行えばよいかを、長年にわたる研究を基に、幅広い症例を紹介し、解説しています。

臨床家としてどうあるべきかという著者の姿勢も垣間見える本書は、教員だけでなく、これから臨床家を目指す学生の皆さんにもぜひ読んでいただきたいと思います。

SPORTS

将来のリーダーを育成

本学恒例の行事である「リーダーズキャンプ」が羽島市のかんぽの宿で1泊2日の日程で開催され、学生、教職員約70名が参加しました。

リーダーズキャンプは、各種団体(学友会、体育会、大学祭実行委員会、学友会中央協議会)の学生代表が集い、毎年宿泊形式で行われており、リーダーシップの育成、クラブ・同好会活動の活性化、参加者相互の親睦を深めること目的としています。

両日共に分割みのタイムスケジュールの中で、自己紹介、グループ討議、フリーディスカッション等のセッションを次々とこなした学生たちは、短期間の間に将来のリーダーとしての素養を身に付けた様子でした。



レクリエーションでチームワークを高める

心肺蘇生法を学ぶ

また、今回のリーダーズキャンプでは、瑞穂消防署の協力を得て「救命救急講習会」も開催されました。参加者たちは応急手当の基礎知識、AEDを利用した心肺蘇生法などを熱心に学びました。



心肺蘇生法を学ぶ参加学生

テニス

沖縄でテニス強化練習会

体育会硬式庭球部の指導者と学生が沖縄県北谷総合運動公園内のテニスコートで第5回となる「テニス強化練習会」を実施しました。



沖縄でテニス強化練習会を開催

この練習会は、沖縄県高等学校体育連盟テニス専門部からの依頼により、高校生の競技力向上を目指すことを目的に毎年開催されています。

2日間の強化練習に参加した県内14校150名のテニス部員たちは、基本練習、トレーニング、マッチ練習などを行い、競技力の向上に取り組みました。

ホッケー 全国制覇祝賀会

穂積キャンパス6号館食堂で、「第91回全日本ホッケー選手権大会」優勝並びに「高円宮牌2017男子日本リーグ」年間チャンピオンに輝いた岐阜朝日クラブと同BLUE DEVILSの祝賀会(報告会)が盛大に開催されました。

選手を輩出すると共に同チームの練習拠点となっている本学の大友克之学長は「競技レベルが非常に高い女子に続き、男子ホッケーでも東京五輪に出場する選手が地元岐阜から誕生してほしい」と選手らを激励、選手たちは、今季の主要タイトル独占の4冠獲得を誓いました。



長屋恭一監督(朝日大学客員教授・ホッケー部監督)が優勝を報告



ぎふ瑞穂スポーツガーデンの石榑詔之理事長が乾杯の発声

体育会総会開催

瑞穂市サンシャインホールで、体育会学生や指導者ら750名が集い体育会総会が開催されました。

大友克之学長から、「現在は12の競技種目(別に2種目の強化指定あり)へと成長した体育会は、設立16年が経過し、数多くの全日本チャンピオンや公認会計士を輩出するなど国内外でめざましい活躍を遂げていますが、常に学生の本分を忘れず、他の学生の模範となる行動をしてほしい」との挨拶がありました。

全国に朝日大学の名を

総会で山本英弘会長は、「体育会のモットーである文武両道を旨とし、これまでの輝かしい伝統を引き継ぐとともにより発展させ、全国に朝日大学体育会の名を広めて行こう」と熱く語りました。



体育会総会で挨拶する山本英弘会長

NEWS

栄えある「宮田賞」受賞

2017年度卒業式（穂積キャンパス10周年記念館大ホール）で、「宮田賞」の授与が行われました。

本学の創立者である宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し



宮田賞（クリスタルトロフィー）を授与される受賞者

本学の名誉を昂揚させた者を対象に表彰するものであり、受賞者には「表彰状」と「クリスタルトロフィー」が宮田淳理事長から贈呈されました。受賞者たちの今後の活躍が大いに期待されます。

宮田賞受賞者

法学部	法学科	高味 昌弘
経営学部	経営学科	亀山 優
	ビジネス企画学科	KANG SEUL GI 小原 佑太 佐々木 光
保健医療学部	看護学科	田中 麻友
歯学部	歯学科	河出 安里佳

羽ばたけ建学の精神を胸に

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学長告辞では、大友克之学長から朝日大学を旅立つ卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神」が贈られ、姉妹校である明海大学安井利一学長から祝辞をいただきました。

式典終了時には参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳肅であった会場内がたちまちに暖かい雰囲気に包まれました。



明海大学の安井利一学長から祝辞をいただく



式典後の胴上げ



卒業記念パーティーで恩師や学友と歓談



法教育作文コンクール

「第7回法教育作文コンクール」（主催：朝日大学、岐阜法教育研究会）の表彰式が穂積キャンパス5号館講義室において行われました。

小・中・高校生を対象とする同コンクールには191件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品にそれぞれ賞が授与されました。最優秀作品に選ばれた受賞者は法教育に対する自分たちの思いや体験をつづった作文を朗読披露し、受賞者のインタビューでは、「今回の作文応募をきっかけに、ルールの大切さを学べてよかったです」との声が聞かれました。



「法教育教材コンクール」の受賞者

合同防災訓練を実施

穂積キャンパス総合グラウンドで、岐阜県北方警察署、瑞穂消防署の協力を得て合同防災訓練が実施されました。

震度6強の地震と火災の発生を想定した訓練では、学生や教職員約90名が、万一の災害に備え対応手順や防災倉庫の備品などを確認しました。

今回の訓練では、ドローンを活用した上空からの避難状況の確認、倒壊家屋からの救助訓練、非常用発電機やAEDの取り扱いについても体験しました。



署員らから非常用発電機の使用法を学ぶ教職員たち